

まち運営会議（第 153 回）議事録（概要）

令和 7 年 3 月 27 日 18:30～19:40

自由が丘エヌケービル 3F 会議室

議長 卯月盛夫

議題 報告事項

1. サンセットエリアにおける自由が丘楽歩環境の実現に向けた
車両通行抑制の取組 目黒区地区整備課
2. その他
 - ・ SMBC 前の追加工事

資料

1. 自由が丘における楽歩環境の実現に向けた車両通行抑制の取組 企画書（2025. 2. 20）
（*この資料をジェイ・スピリットの HP：まち運営会議の欄に議事録概要と併載します。）

●代表 年度末のお忙しい中でお集まりいただきありがとうございます。今回の議題はウォーカブルな、空間の利活用による楽しいまちにつながる取組の一環と考えています。今日もよろしくお願ひします。

●議長 第 153 回自由が丘のまち運営会議を始めます。

1. サンセットエリアにおける自由が丘楽歩環境の実現に向けた車両通行抑制の取組

●地区整備課係長 資料で説明する。（*以下、説明の概略を記す。資料を参照されたい。）

・取組の目標 自由が丘未来ビジョンでは楽歩環境づくりを提唱している。駅周辺の商業集積地を対象に、細街路への車両進入の抑制と歩行者空間の拡充を重点・集中的に進める。私道の多いサンセットエリアで前回の社会実験を活かして 2 回目の取組をする。

・楽歩地区 道路基盤整備、細街路での交通規制の強化、建物更新のルール、駐車場地域ルール、自転車の押しチャリルールなどを組み合わせて、歩行者を主役とした回遊環境の形成を目指す。

・楽歩啓発サインの設置 「歩行者優先・車両最徐行・押しチャリ」を目指す置き看板を自由が丘エリアプラットフォームで検討中。

・サンセットエリアの課題 ①通過車両による歩行者の安全性の阻害 ②細街路・敷地内外構部の破損（ゴミ収集車など重い車両によると推測） ③比較的速い速度で通過する自転車による歩行者の安全性の阻害

・課題解決のための取組 ①歩行者の安全性を阻害する通過車両の排除 交通規制の変更と電動式等の常設のボラード設置を考える（先行事例の美観街にヒアリングした） ②細街路等の破損原因と推定される重量の重い車両（ゴミ収集車）の抑制のために、ゴミ収集業者にヒアリングした

・サンセットエリアにおける将来に目指す姿 ①エリア全域の細街路に関する歩行者専用道路化（居住者用車両を除く） ②出入口部におけるボラード等の設置（エリア内での車両利用が必要な人にリモコン等を配布）

・社会実験の実施 ①2025.5.12(月)～17(土)の11～19時 ②警備員・バリケードを配置 ③通行証(居住者、配送業者)を事前に配布 ④一時通行証(福祉タクシー、ネットスーパー、工事車両等)を配布 ⑤バイク・自転車は、理由に関わらず、押しチャリ通行

・前回の社会実験での課題解決に取り組む ①地区内の居住者等への周知不足の解消 ②事前配布する通行証利用者の漏れ解消 ③体の不自由な方への配慮(警備員への声掛け等による車両通行)の周知・徹底
・皆様と議論を重ね合意形成を得ながら、段階的に、目指す将来像(24時間365日の歩行者優先化)の2030年度から運用を実現していきたい。サンセットエリアは私道が多く、賑わいのある店が多い。こういう地域は少ないので、未来ビジョンにある楽歩地区の実現のための社会実験を実施するには良い地域である。地域も積極的に考えている。説明は以上です。

●議長 ありがとうございます。先駆的な取組である。質問や意見をお願いします。

●3つある。①このエリアにどの位の通過交通車両があるのか ②宅配便のためのモビリティハブを作って、そこで荷物の積み替えをしてもらうことを提案する。将来的には配達ロボットを使うこともあるだろう ③実験としてはもう少し長い期間、数か月とかできると、良い点・不十分な点などいろいろ見えてくると思う。

●係長 ①通過交通量は5～6台/時で、午前中にサンセットアレイの学園通り側から女神通りに抜ける車がある。交通量に関しては実験中もそれ以外の時にも注意しておきたい。②配送車の現状は、ヤマトはエリア内にあるタイムズの駐車場で荷物を小分けして手押し荷車で配送。佐川はトラックの荷物をエリア内にある中継基地である倉庫に集め、そこから手押し荷車で配送。酒類を運ぶ料飲組合は、荷が重いので店先に車をつけて、一時停車で対応している。1-29のビルの地下2階に地域の共同荷捌き場ができるが、その利用について、ヤマトは利用可能、佐川と料飲組合は利用しない方向である。③実験期間について、現状は「良い」と思われる方がいる一方で、居住者などには「迷惑だ」という考えがある。これをクリアしないと実験期間延長は難しい。運用面の工夫が求められている。

●議長 サンセットエリアのお店に配送するのに1-29の荷捌き場を使うとしても、すずかけ通りをまたぐことになるので、きついと感じられる。

●取組には賛成だが、2回目となる今回の実験の検証内容は何か。

●係長 交通規制の変更やボラード設置の可能性を見据えたアンケートを実施して、「通行車両が減って歩きやすくなる」工夫をして、「こういう規制があってもやっていけるよね」と理解と協力が得られるような取組にしたい。

●議長 実験で明らかにしたいことは、①車両と歩行者の通行量のデータ ②自転車・バイクの利用状況 ③時間帯の対応とエリア内の地域性の差異 が挙げられる。私は私道の舗装がどうなるか関心がある。

●細かなことで質問等をいくつかしたい。①重いゴミ収集車はなぜ2-3回も地域を廻るのか。少ない方が道を痛めないだろう。②細街路の下の下水道管を痛める車両の重さは何トン以上か。③押しチャリの期間中の細街路での強制は適切か。歩行者のほとんどいない時、子どもを載せている時など。④歩行者が危険を感じた場所は特定されているのか。⑤エリア内の各主要地点での時間帯による車両・歩行者の属性と量の現状と実験中の比較ができる調査 ⑥各種ヒアリングは区が担当したのか。地元も関わった方がよいと思う。⑦警備員が多く配置されるが、その費用も大きいと思う。この実験の費用負担を地元もしているのか。⑧地域の理解と協力について、テナントと居住者で求めていることに差異がある場合の対応はどうか。最後に、説明を聞いていると、こういう社会実験の運営に地域の人たちがもっともっと関わるのが大事であると感じた。

●係長 ①暗い時間帯に収集するので、回収もれが出る場合もあると推定する。②分からない。③検討の余地があるかもしれないが、押しチャリの啓発活動は地元をお願いしたい。④エリア中央の東西に通るサンセットアレイで、後ろから来た車に体が当たったという事例がある。⑤交通量調査は適時適当な場所で行う。⑥ヒアリングは地元が担当した。⑦実験の主要な経費支出は区が負担する。ソフト面で地元が協力する。⑧実験の周知などでも地元の協力を得ている。

●警備員の費用なども要するこのような社会実験では、国交省から助成金がもらえる仕組みがある。

●議長 実験の後も情報交換をしていきたい。ありがとうございました。

2. その他

●都市基盤整備課 SMBC前の道路予定地の工事は塾に通う子供たちの安全にも配慮して無事に終わったが、しらかば通り側にある下水道管の広場側への勾配を大きくしなければならないことが分かり、4月に入ってから2日程度の追加の夜間工事をする。お知らせも掲示する。

●代表 1-29の再開発建設工事で、地上に鉄骨が出てきた。梁の高さは90cmある。銀座シックスの約半分の面積5000㎡で、高さは56mに対し、こちらは60mになる。いま作動しているクレーンの高さが56mとのことである。来年夏の竣工を目指している。

●議長 駅前公衆トイレの工事はどうなっているか。

●地区整備課係長 道路公園課の担当であるが、私の聞いているところでは、工事はゴールデンウィーク前に終る。5月中～下旬に使えるようになる。工事完成を祝してテープカットなどのセレモニーをしたらどうかという提案があり検討中とのことである。

●3/2に駅前広場で大がかりな防災訓練があり、高さ30mに達するハシゴ車が来た。その後の会議で消防の八雲出張所長に質問した。駅前に60mのビルができるのだが、その火災発生の場合にどうするのか。消防法でスプリンクラーの設置等が厳しく決められているとの答えだった。今日、その所長さんがおられるのでもう少し詳しくお聞きしたい。

●30mを超える高層建築物には消防法で、スプリンクラー、非常用エレベーター、非常電源、連結送水管の放水口の設置、その他の規定がある。水は通常はビルの地下に貯水されていて、非常時に近くの消火栓から放水される。

●議長 本日の会を終了します。ご協力ありがとうございました。次回は4/24の予定です。